

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 千寿園ケアホーム

作成日 平成 22 年 8 月 20 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	近隣の方との開設当初からの永いお付き合い・協力体制は続いているが、老人会の皆様方との交流の機会がまだまだ少ない。	・老人会の皆様と積極的に交流もちたい。 ・老人会で特技のあらわれる方にボランティアとして協力をいただき、事業所内での茶話会を設けてみたい。	・地域の合同行事に参加した際に、老人会長さんへ相談してみる。 ・協力者を募って、年2回の茶話会を開催してみる。	1年間
2	2	地域の子供みこしの慰問等恒例となる行事があるが、事業所側からの働きかけが少なくなっている。	・恒例になるボランティア慰問に受身になるのではなく、子供会等との関わりを大切に、積極的に感謝の気持ちを届けられるようにしたい。	・事前にご利用者と一緒に手作りのお礼を準備し、プレゼントとしてみる。 ・ご利用者と一緒に年賀状等でお礼の気持ちを届けるようにする。	1年間
3	3	地域での介護相談や外部での認知症ケア啓発運動は行っているが、市内での認知症サポーター養成活動はまだ行っていない。	・認知症ケアに関する現状・地域での問題点に着目し、認知症の方やご家族の思いを汲み取りながら、地域の事業所全体で改善してゆけるよう研修会を推進していきたい。	・地区協議会の中で現状の課題点を議題とし、認知症の方の気持ちを理解するための勉強会を開いてみる。 ・包括支援センターへ相談し養成講座を開催してみる。	1年間
4	4	地域運営推進会議に2年の任期で同じご家族代表に協力をいただいているが、代表へ依存傾向にあり、他ご家族への働きかけが少ない。	・地域運営推進会議に関し、現代表者の方以外のご家族へも積極的に協力を依頼し、会議を運営報告・意見交換・情報収集・課題発見の場としてより充実させていきたい。	・会議の主旨について再度全ご家族へ説明し理解をいただく。 ・他ご家族へも会議開催日を伝え、議題やご意見がないかがうかがうよう改善する。	1年間
5	19	ご利用者の外出に関し、ご家族ではなく事業所側のみの同行支援が多く、ご家族と共同して外出を支援する機会が少なかった。	・各ご利用者、年に1度ずつでも、ご本人の本当に行きたい場所・思い出の場所等へ、(行きたい時に行きたい場所へ)ご家族と一緒に支援していきたい。	・ご本人・ご家族からの聴き取りで、再度ご本人の大切な場所や人等について確認してみる。 ・日程を調整しご家族と一緒に外出を支援してみる。	1年間
6	31	各職員、日常的に医師・看護職員と意見交換し指導を受けているが、医療面に関する勉強の機会がまだまだ不足している。	・医師・看護職員からの指導を受け、全職員の知識・技術アップを図り、ご利用者・ご家族の『安心』に繋げていきたい。	・毎月の職員会で、看護職員からの知識・技術指導を定着させる。 ・医療・看護勉強会を年間研修計画に組み入れ実践してみる。	1年間
7	34	母体病院の24時間体制協力や救急訓練等で備えているが、全職員があらゆる場面で立ち着いて対応できるよう強化していきたい。	・起こり得る高齢者の急変や異常事態に備え定期的に学習し、緊急時に素早く判断し適切な対応ができるよう知識・スキルアップを図りたい。	・現在ある緊急時の対応マニュアル本(書籍)をあまり活用できていないため、重要項目をコピーし定期的に勉強会で使用していく。	1年間
8	38	『利用者中心ケア』をモットーに全職員で取り組んできたが、時に、職員の口調や行動が速まってしまっていることがある。	・全職員で、自分の言葉かけやご利用者介助時のペース(ご利用者のペースでできているか)について振り返り、それらを常に意識する習慣を身につけていきたい。	・認知症について正しく学習し、認知症の方の聴き取りやすい声のトーン速さについて協議してみる。 ・『急がない・ゆったり介護』の大切さについて再度職員間で話し合い、徹底させていく。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。